

# 9月かんごだより

2018.09.18



## all-rounder(ポリバレントナース)を目指して!

なりたい看護師像を具現化するため、看護部で支援している、リリースや院内留学を経験した仲間感想を聞いてみました。

どの守備でも対応できるプレイヤーになるぞ!!



### ◎急性期病棟から回復支援病棟の看護を経験して!

回復支援病棟では、どのような視点で情報を活用し、退院へ繋げているのかを学び、急性期の現場に生かすことを院内留学の目的としました。

ご高齢な患者さんが住み慣れた生活の場に戻るためには、急性期の段階でいかに残存機能を維持する介入(自立支援)が行えるかがカギで、多職種連携が重要になってくると実感しました。次に把握する情報は、①支援者の有無と、どの程度の支援が可能なのか、②認知面やADLで残された問題は何か、③問題を補う(解決するため)ために必要な支援を患者支援室と共有し、多職種チームの介入を早期に進めることです。今回の学びを生かし、患者さんを中心とした急性期病棟と回復支援病棟のスムーズな連携ができるようにリーダーシップを発揮していきます。 3南 谷崎加菜

### ◎検査室から急性期病棟の看護を経験して!

私は現所属の検査室勤務7年目を迎えます。看護部目標にあるポリバレントナースを目指すために、かれこれ10年以上離れた病棟業務を再学習する必要があると感じていました。病棟スタッフの方とパートナーを組んでの看護展開、また看護管理の視点で病床管理や退院支援をあらためて学ぶことができました。また、検査室として病棟との協働に貢献できることはないか模索し、自部署を客観的にみる機会ともなりました。他部署を知り互いの協働意識を高めるためにも、この院内留学は効果的だと思います。研修を受け入れてくださった3階南病棟の皆様に感謝します。検査室 中島理子

## 多職種との協働体制!

★今年度から業務の一部を移譲させていただいた職種の皆様と業務についてご紹介します。



抗がん化学療法の薬剤ミキシングに並び8月よりTPN薬剤ミキシング業務が本来の薬剤師に完全移譲されました。



外科で重要なガーゼ交換時の補助と鋼製小物の管理について、救命救急士の皆様の協力を得ています。



患者さんファーストを意識し、日々多職種の皆様との協働を推進しましょう

編集担当:下田